

ひょうごバイオマス eco モデル〔令和4年度登録〕

第85号

地域の放置竹林から発生する竹バイオマスの多段階利活用

株式会社公栄水産

(たつの市御津町室津 119)
<https://kouei-suisan.co.jp/>
 TEL: 079-322-2771

◇会社概要・事業内容

牡蠣、アサリ等の養殖事業を中心に、海産物の加工・販売事業も展開。養殖筏から海底に脱落する牡蠣を効率的に回収するために、養殖筏下部に網を設置することで、底質悪化を防ぐとともに、漁場環境の保全・維持を図っている。



<https://kouei-suisan.co.jp/products> より

取組概要

- ◇放置竹林整備で発生する地元産竹材を使用した牡蠣筏の制作を行っている。
- ◇伐採竹のうち、太さ・長さ（直径約 10~11cm×10m）を満たした竹のみ筏制作の材料として使用。それ以外の竹はチップパーで粉碎し、マルチング材として竹林内に散布している。
- ◇牡蠣筏は3年ごとに更新しており、使用済みの廃竹材についても破碎・粉末化し、地域の野菜栽培に適した土壌改良材としての利活用を模索中。

取組開始年月		令和2年3月
利活用 バイオマス	種類	竹
	利活用量	伐採竹 180本/年 伐採竹・廃竹 5t/年
	回収先等	たつの市、太子町内
変換等の方法		切断・加工、破碎・粉末化、乳酸菌発酵
製品等	種類	牡蠣筏、土壌改良材
	製造量	竹製筏 3台、竹チップ 4t
	利用先	牡蠣筏：自社 土壌改良材：一般ユーザー（試作段階）
先導性の区分		原材料、地域

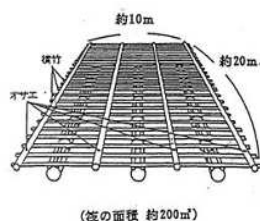
※R4実績値

【強み】

- ◇海洋汚染の元となるプラスチック製パイプではなく、自然素材の竹を使用することで海の環境を守る。
- 【取組の効果】
- ◇地域課題であった放置竹林の整備に貢献するとともに、地域内の竹資源を利活用することにより地産地消が図られている。
- ◇使用済みの廃竹材をタケノコ生産に必要なマルチング材として活用することで、処分費を削減。



規格内のみ使用



年間利活用炭素換算量 約1t/年